

付録-7 詳細調査報告書作成要領

—目次—

	ページ
板厚調査.....	1
亀裂調査.....	2

点検表（板厚調査結果記録票）

点検年月日

種別		管理者		管理番号	
■ 板厚調査結果				整理番号	

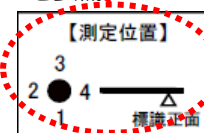
調査部位					測定厚			管理 板厚	限界 板厚	損傷程度 の評価
部材	調査箇所	記号	測定位置	番号	1 回目	2 回目	最少厚			
支 柱	支柱本体	Pph	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	電気設備用開口部	Phh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
			左	5						
			右	6						
	柱・ベースプレート溶接部	Pbp	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	路面境界部 (GL-40)	Pgl-40	0°	1	6.82	6.80	6.76	6.40	5.90	i
			90°	2	6.80	6.83				
			180°	3	6.79	6.80				
			270°	4	6.76	6.79				
	柱・基礎境界部	Ppb	0°	1						
			90°	2						
180°			3							
270°			4							
横 梁	横梁本体	Cbh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	横梁・ベースプレート溶接部		0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	横梁仕口溶接部	Cbw	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						

記入例

計測位置が分かるように、
計測場所を図示すること

※ 測定位置については、円周方向4箇所以上とし、腐食状況等の応じて測定箇所を増やすなど適切に状態を把握できるよう考慮すること。

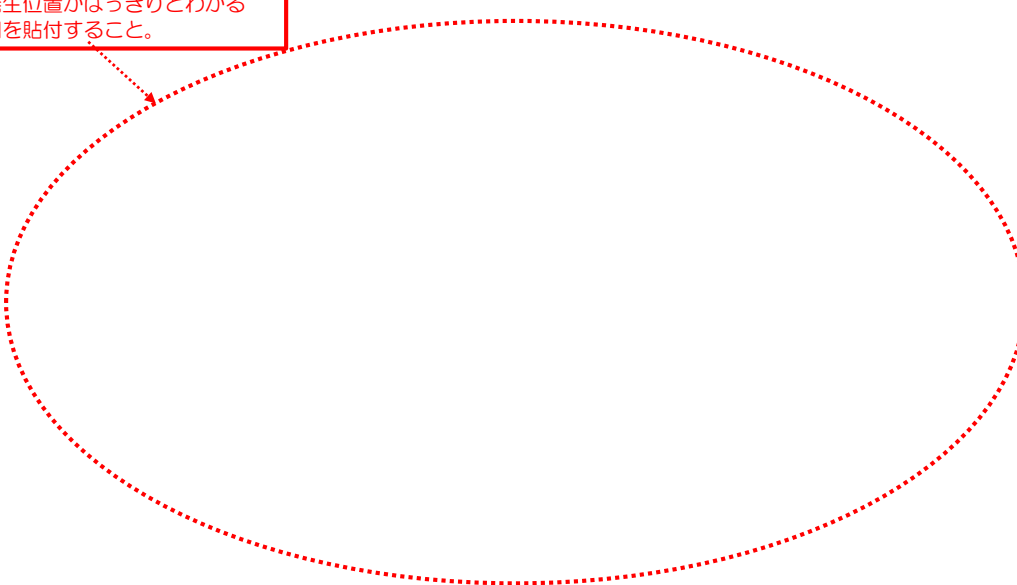
※ 標準的な測定位置については、附属物（標識、照明施設等）の点検要領（案）（平成22年12月 国土交通省道路局）付録-3を参照。



鋼部材亀裂調査（調査位置図）

1/2

建植番号	89-3-28-108-001	路線名	国道479号（内環状線）	行政区	旭区	ID	34° 42' 59.5" 135° 33' 38.1"
管理番号		緊急交通路		工営所	中浜工営所	点検年月日	2016年11月23日
支柱形式	片持式（F型）	板取付形式	固定式	表面処理形式	塗装式＋亜鉛めっき式	建設年	1990年3月

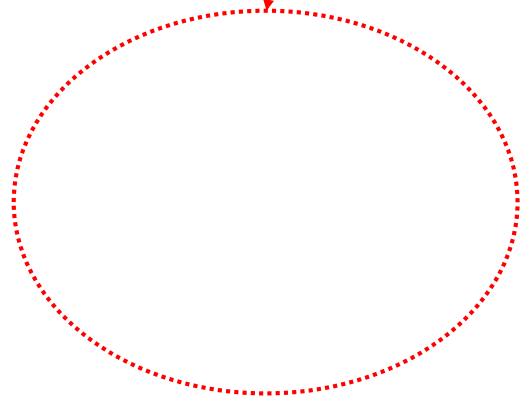
調査部位	備考	
調査位置図（※1）	・亀裂は、疑いも含めて非常に重大な損傷であることから、点検時に発見した場合は、遅滞なく監督職員に連絡をするとともに、対応協議を行うこと。	
	・亀裂発生位置がはっきりとわかる位置図を貼付すること。 	
その他		

※1 詳細図が無い場合は、溶接線の位置が分かるようにスケッチする。

鋼部材亀裂調査

2/2

建植番号	89-3-28-108-001	路線名	国道479号（内環状線）	行政区	旭区	ID	34° 42' 59.5" 135° 33' 38.1"
管理番号		緊急交通路		工営所	中浜工営所	点検年月日	2016年11月23日
支柱形式	片持式（F型）	板取付形式	固定式	表面処理形式	塗装式＋亜鉛めっき式	建設年	1990年3月

調査径間	橋脚番号	調査結果						
損傷図（※1）	検査	結果						
・明らかに亀裂と判断できる損傷の場合は、磁粉探傷のみ実施し、過流探傷試験欄には、「有」と記載 ・必ず、先端と大きさを表記すること 	検査項目	①	②	③	④	⑤	備考	
	塗膜われ・亀裂							
	局所錆							
	渦流探傷試験（有・無）							
判定※3（亀裂の有無）	磁粉探傷試験（mm）							
その他	探傷試験スケッチ図							

※1 亀裂は、大きさと先端を図示する。

※2 塗膜を除去した場合は、部分補修（塗替）を実施する。

※3 亀裂の有無を記載すること。